

種子島を元気にしよう！ 企画案

人口減少時代を迎え、島から元気が消えてしまうのが心配です。種子島は豊かな産物と美しい自然など地域資源・観光資源を生かして島の活性化に務めています。地域格差の拡大と国際化の荒波は否応なしに押し寄せてきています。そんな時代だからこそ、島民や島出身者は島を元気にしたいという思いをますます募らせているのではないのでしょうか。

鹿児島島の島々の移住・交流をネットワークする「かごしま・島交流の会」は、そんな種子島を応援したいと思い、島が元気になるきっかけになればと本企画案を考えました。ご覧いただければ幸いです。

1 まず、種子島を知ってもらおう！ ファンを増やそう！

1. 観光・交流の促進

都市圏との交流を活発にする中で、グリーンツーリズム・ブルーツーリズム等のエコツーリズムを地道に推進するとともに、滞在型の観光メニュー作りや子ども留学制度を充実させましょう。

種子島にしかない見処、味わい処を知ってもらう。赤米田植え・収穫体験&オーナー制、温泉・焼酎蔵巡回、漁師飯・安納芋パティシエ・フラ・各種工房などの体験活動、海岸清掃・うみがめ保護など社会貢献活動、ほか。屋久島、鹿児島本土、奄美群島等と合わせた広域の交流・周遊ツアーを推進する。

外国人旅行客の積極的な受け入れ態勢を整備する。リピーターを増やすため「種子島クーポン」を導入する。

2. 特産品など種子島のPR拡大

ロケットと鉄砲だけが種子島ではありません。大ソテツや美味しいお芋、新米・新茶の出荷など、日本一が揃っている種子島は、都市の消費者にとって魅力いっぱいの島。大いに発信しましょう。

まだまだ目立たない種子島の農産物、海産物等特産品を知ってもらう。

かごしま遊楽館などの施設を活用し、物産展や商談会等のイベントを開催して種子島をPRする機会を増やす。



2 ネットワークを広げよう！ 島へ人を呼び込もう！

1. 種子島ポータルサイトの開設

すでに有るようでいてこれというものが無い種子島のポータルサイト。携帯の普及でネットワーク機能が拡大したインターネットは、低コストで高い効果を得られる必須アイテムです。

「種子島を元気にする」をコンセプトに、コミュニケーション機能等を備え、携帯版も必要。

種子島の移住 / 交流 / 観光の受け皿情報を充実させ、他メディア等との連携なども多様に展開する。

2. アンテナショップ「種子島カフェ」の開設

都会で島出身者が集えるショップが出来れば、島人以外の都市市民との交流が拡大し、種子島ファンのネットワークが形成されるでしょう。

物産の販売とともに、都会の消費者のニーズを掴むアンテナショップ機能を充実させる。

カフェのスペースや焼酎バーなどを設け、ネットワークをつなげる交流機能をめざす。

3. 種子島ライブなど、島外でのイベント活動促進

東京で「種子島」は、沖縄や奄美に比べ、同じ南の島なのにあまり聞くことがありません。誰にでも共感を持ってもらえる音楽などアートの力を借りて、種子島をアピールしましょう。

島出身者や愛好者を中心としたアーティストによるライブ活動を行なう。

島人と都市市民が交流できる仕組みを作り、種子島ファンのネットワークを広げる。

4. Uターン・Iターン促進

移住のポイントは仕事と住まいですが、仕事探しは住居探しより更に困難です。若者のUターンや島出身者のIターンを促進するため、定住や長期滞在促進へきめ細かなコンシェルジュ(=世話すること)活動を進めましょう。

仕事を創造する起業塾活動を推進し、種子島企業へのインターンシップ制の導入で、若者世代を呼び込む。

移住者と地元の交流を進め、社会貢献活動への参加増を背景に、移住コンシェルジュの人材を育成する。

定住へのステップとなる長期滞在型の交流・体験施設を充実する。

都会の「種子島カフェ」を活用して種子島情報を発信し、都市圏と島との交流活動を活発にする。

島から都会へのパートナー探しツアーを実施する。(一種の移住セミナー)



3 切り口を変え、地域を盛り上げよう！

1. 「FM種子島」(仮称)の開局

いま人気のコミュニティ放送局は、地域を盛り上げる最高のツールです。県内に6局ある地域FM放送が島内にもあれば、島民同士や島外との交流が深まります。ラジオは影響力の強いメディアであり、ストリーミングやビデオ配信等の新技術により全国規模の宣伝も可能です。島を元気にするラジオを始めませんか？

「島を元気にする」をコンセプトに、種子島のさまざまな今日を、全島民参加により低コストで放送する。

- ・ 島民が主役の種子島ニュース、行政や各集落の情報、イベント情報、リサイクル情報
 - ・ 種子島のアクセス・宿泊など観光・トラベル情報、種子島の歴史・文化・産業情報、移住者紹介情報
 - ・ 宇宙センターなどポスト皆既日食の「月に一番近い島」情報、「種子島の未来」・「子ども種子島」情報
 - ・ 「種子島の食」グルメ情報、安納芋・焼酎等特産品、農産物、海産物など生産現場の情報
 - ・ ヨット・サーフィン・ダイビング・フィッシング等のマリナーレジャー情報、潮汐・波情報
 - ・ ダンス、島内サイクリング・マラソン・トライアスロン等の種子島カップ(無いものは新設する)の関連情報
- など、コンテンツはいろいろ考えられますが、最初はシンプルにスタートしましょう。(開局費用等概略は別紙)

他の地域コミュニティ放送局と連携し、相互放送する番組を行なう。インターネットも最大限活用する。

離島便料金の値下げ要望や人口減対策の提言など、たまには辛口のコメントも面白いかもしれません。

地域社会を支える防災機能も持ち得ます。

2. 離島の問題を解決するための連携活動

コミュニティ放送局は島を元気にする起爆力を持ちますが、他の島々との連携によりさらにパワーアップしましょう！

かごしま・島交流の会 ホームページ

<http://shimakouryu.iju.jp/>

E-mail shimakouryu@iju.jp